

令和4年4月30日

赤穂市長 牟禮正稔様

公益財団法人赤穂市文化とみどり財団

理事長 豆田正明

令和3年度 赤穂市文化会館の事業報告について

赤穂市文化会館指定管理者管理運営基準に基づき、令和3年度管理委託に係る事業
について別紙のとおり報告いたします。



文化施設の管理運営事業

施設の名 称	施設 の 概 要	内 容
赤穂市文化会館	大ホール外 9,845m ²	指定管理
赤穂市立民俗資料館	展示室外 1,006m ²	指定管理
赤穂市立歴史博物館	展示室外 2,043m ²	指定管理
赤穂市立美術工芸館	展示室外 841m ²	指定管理
赤穂市立海洋科学館	展示室外 1,248m ²	指定管理
塩の国施設	塩田外 11,364m ²	受託管理

文化施設の利用状況

文化会館

令和3年度文化会館施設使用状況

令和3年4月1日～令和4年3月31日 開館日数 301日

区分	利用可能		午前		午後		夜間		合計				
	日数	区分数	使用区分	使用率%	使用区分	使用率%	使用区分	使用率%	使用区分	使用率%	使用日数	利用率%	入場者数
大ホール	285	855	33	11.6	33	11.6	31	10.9	97	11.3	53	18.6	9,204
小ホール	293	879	56	19.1	61	20.8	24	8.2	141	16.0	65	22.2	9,513
展示室	301	903	85	28.2	92	30.6	66	21.9	243	26.9	99	32.9	8,587
学習室	301	903	43	14.3	80	26.6	29	9.6	152	16.8	95	31.6	2,607
和室	301	903	86	28.6	107	35.5	14	4.7	207	22.9	145	48.2	800
リハーサル室	301	903	66	21.9	96	31.9	122	40.5	284	31.5	197	65.4	6,059
練習室1	301	903	134	44.5	140	46.5	82	27.2	356	39.4	206	68.4	2,487
練習室2	301	903	164	54.5	166	55.1	105	34.9	435	48.2	249	82.7	2,595
合計	2,384	7,152	667	28.0	775	32.5	473	19.8	1,915	26.8	1,109	46.5	41,852

(大ホールは5/1(土)～5/21(金)までトイレ工事を実施し、小ホールは3/7(月)～3/16(水)まで照明工事を実施したため利用中止となった。)

<入場者数>

貸館による入場者数	37,804 人
自主事業による入場者数	4,048 人
小計	41,852 人
市民ロビー入場者(ロビーコンサート)	0 人
合計	41,852 人

令和3年度文化会館施設別ジャンル別使用状況

令和3年4月1日～令和4年3月31日

区分	大ホール		小ホール		展示室		学習室		和室		リハーサル室		練習室1		練習室2		合計	
	日数	割合%	日数	割合%	日数	割合%	日数	割合%	日数	割合%	日数	割合%	日数	割合%	日数	割合%	日数	割合%
音楽会	15	28.3	22	33.9							21	10.6					58	5.2
大会・集会・式典	5	9.4	6	9.2													11	1.0
研修会・講演会	1	1.9	7	10.8	5	5.0	37	38.9									50	4.5
邦舞・邦楽	3	5.7	1	1.5													4	0.4
洋舞																		
演劇	1	1.9	2	3.1													3	0.3
古典芸能等	5	9.4	3	4.6													8	0.7
映写会			1	1.5			4	4.2									5	0.5
展示会			5	7.7	67	67.7	11	11.6									83	7.5
会議							13	13.7									37	3.3
リハーサル	23	43.4	12	18.5							7	3.6	13	6.3	4	1.6	37	3.3
茶会											2	1.0					37	3.3
教室									1	0.7							1	0.1
その他									121	83.4	157	79.7	105	51.0	217	87.1	600	54.1
			6	9.2	27	27.3	30	31.6	23	15.9	10	5.1	88	42.7	28	11.3	212	19.1
合計	53	100.0	65	100.0	99	100.0	95	100.0	145	100.0	197	100.0	206	100.0	249	100.0	1,109	100.0

文化会館自主事業

(1) 弦楽教室の開催

・ヴァイオリンアンサンブル教室

練習期間 令和3年6月～令和4年3月 (延べ100回)
会場 赤穂市文化会館 リハーサル室 外
生徒数 小・中学生外 30名 (令和4年3月31日現在)
指導者 原田芳彰、大塚さえ子、山脇洋子、岸本依梨紗

・ヴィオラ・チェロ・コントラバス教室

練習期間 令和3年6月～令和4年3月 (延べ92回)
会場 赤穂市文化会館 楽屋 外
生徒数 中学生外 7名 (令和4年3月31日現在)
指導者 原田芳彰、大塚さえ子

・発表会 期 日 令和4年3月27日 (日) 14:00
会場 赤穂市文化会館 大ホール
参加者 ヴァイオリン教室 9期生～20期生 外
ヴィオラ・チェロ・コントラバス教室 1期生～4期生
入場者数 258人

(2) 吹奏楽教室の開催

ハーモニー吹奏楽教室

・金管道場コース

練習期間 令和3年6月～令和4年3月
生徒数 大人 1名 (令和4年3月31日現在)
指導者 日生貴之
備考 新型コロナウイルス感染拡大防止のため未実施

・吹奏楽コース

練習期間 令和3年6月～令和4年3月
会場 赤穂市文化会館 練習室 外
生徒数 中学生～大人 5名 (令和4年3月31日現在)
指導者 森安高廣
備考 新型コロナウイルス感染拡大防止のため未実施

(3) 文化団体への文化会館利用助成

市内文化団体への文化会館利用助成

対象 11団体 助成金額 1,366,640円

芸術・文化の提供（文化会館事業）に関する事業

(1) 芸術等鑑賞、市民文化の振興と奨励事業の開催

自主事業名	開催日時・会場	内容（プログラム・演目・出演者等）
三浦祐太郎 Live Tour 2020- 2021 “Blooming Hearts”	8月7日（土） 大ホール 開演15:00	<出演者> 三浦祐太郎 <曲 目> 横須賀ストーリー、イミテーションゴ ールド、小さな手、Blossom 外 <入場者数> 510人 <事業費> 2,046,963円 ※令和元年度に公演料前金等1,884,762円支出済
広瀬香美 香美別邸 2021～ピアノ弾き語 りライブ～	10月23日（土） 大ホール 開演16:00	<出演者> 広瀬香美 <曲 目> グレンデがとけるほど恋したい、 ロマンスの神様 外 <入場者数> 506人 <事業費> 6,394,792円
財津和夫コンサート 2021with 姫野達也 All Izz Well	11月6日（土） 大ホール 開演17:00	<出演者> 財津和夫、姫野達也 <曲 目> 青春の色、銀の指輪、心の旅 外 <入場者数> 752人 <事業費> 6,269,581円
姫路交響楽団赤穂演 奏会	11月23日 （火・祝） 大ホール 開演14:30	<出演者> 姫路交響楽団、指揮：黒田洋 <曲 目> ブラームス： ハイドンの主題による変奏曲 作品56 マーラー： 交響曲 第1番ニ長調「巨人」 <入場者数> 307人 <事業費> 532,103円（共催事業）
劇団四季ファミリー ミュージカル はじまりの樹の神話 ～こそあどの森の物 語～	12月4日（土） 大ホール 開演17:00	<出演者> 劇団四季 <内 容> 想いを声にすれば、きっと相手に届く 人と人のつながりの大切さを描く、心 の成長の新作物語 <入場者数> 800人 <事業費> 4,583,345円
赤穂市制施行70周年 記念協賛事業 青年団公演 『忠臣蔵・OL編』 『忠臣蔵・武士編』	12月12日（日） 小ホール 開演13:00 開演16:00	<出演者> 平田オリザ主宰の劇団「青年団」 <内 容> 忠臣蔵を題材にした戯曲 『OL編』、『武士編』 各公演終了後 作・演出平田オリザ氏 によるアフタートークを開催 <入場者数> OL編130人、武士編124人 合計 254人 <事業費> 3,069,187円

自主事業名	開催日時・会場	内容 (プログラム・演目・出演者等)		
純烈コンサート2022 (2回公演)	2月16日(水) 大ホール 開演14:00 開演17:00	<出演者> 純烈、ゲストみはる <曲目> 1部 みはるものまねショー 2部 純烈公演 愛をください、君がそばにいるから、 プロポーズ 外 <入場者数> 1回目:541人 2回目:279人 合計 820人 <事業費> 1,085,330円 (共催事業)		
おもしろミュージックスクールvol.26 詩・歌・SONG ～うた!うた!う た!!～	2月20日(日) 小ホール 開演14:00	<出演者> ソプラノ:町田百々子・木下裕子、 テノール:三木秀信、バリトン:青木 耕平、ピアノ:佐甲寿美 <曲目> 弘田竜太郎:叱られて、平岡照章:小 鹿のバンビ、三木稔:馬鈴薯の花、中 田喜直:木兔、萩京子:宮沢賢治の詩 による二重唱曲集「風がおもてで呼ん でいる」、千原英喜:宮沢賢治最後の 手紙 外 <入場者数> 99人 <事業費> 537,709円		
赤穂市立学校部活動 等支援事業	別記	<事業費> 142,340円		
共通経費	<事業費> 1,158,185円			
計	<入場者数> 4,048人			
	<事業費> 25,819,535円			
	入場料	市補助金等	その他収入	
	10,715,965円	14,883,873円	219,697円	

(注) 共催事業:アーティストの招聘元であるプロモーターが出演料等を負担し、財団が施設・付属設備使用料等を負担して共同主催により実施する公演

<友の会会員数> 261件 (令和4年3月31日現在)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した事業

子ども芸術劇場<おもしろミュージックスクール>

吹奏楽・金管バンドの祭典2021

フェスタ・アルモニカ・イン・アコウ合唱の祭典2021

木津川計の一人語り劇場

※赤穂市立学校部活動等支援事業

ホール練習 期間 7月26日(月)、7月29日(木)、8月5日(木)

会 場 赤穂市文化会館 大ホール外
団体名 合唱：塩屋小学校、吹奏楽：赤穂中学校、赤穂西中学校
出場コンクール 合唱・8月19日（木）NHK全国学校音楽コンクール兵庫大会
吹奏楽・7月31日（土）兵庫県吹奏楽コンクール西播磨大会
・8月11日（水）兵庫県吹奏楽コンクール兵庫県大会

(2) ル・ポン国際音楽祭2021赤穂・姫路（共催）

「ベルリン特別公演オンラインコンサート」

日 時 12月13日（月）午後8時から午後10時

場 所 フィルハーモニー・ベルリン 大ホールよりライブ配信

備 考 新型コロナウイルス感染症により演奏家が来日して行う
音楽祭が中止となった

赤穂市文化会館指定管理者自主事業収支決算書
(令和3年度分)

(単位:円)

収入

項目	予算	決算	差引	内訳
基本財産運用収入	224,000	224,000	0	
芸術文化事業収入	18,567,000	12,381,662	6,185,338	文化会館事業収入
赤穂市補助金収入	22,794,000	17,056,874	5,737,126	文化会館自主事業補助金 14,659,873 文化団体助成補助金 1,366,640 教室事業補助金 1,030,361
合計	41,585,000	29,662,536	11,922,464	

支出

項目	予算	決算	差引	内訳
事業費				
給料手当支出	20,000	6,183	13,817	事業整理員手当
臨時雇賃金支出	20,000	0	20,000	
旅費交通費支出	380,000	139,812	240,188	旅費
消耗品費支出	285,000	266,841	18,159	事業用消耗品
会議費支出	256,000	93,053	162,947	出演者ケータリング
印刷製本費支出	1,080,000	977,414	102,586	事業ポスター・チラシ印刷外
修繕費支出	28,000	8,030	19,970	楽器修理
通信運搬費支出	449,000	301,449	147,551	郵便料外
広告料支出	950,000	765,090	184,910	事業広告掲載料
手数料支出	356,000	121,770	234,230	ピアノ調律外
委託料支出	24,659,000	19,099,666	5,559,334	自主事業業務委託
使用料賃借料支出	6,738,000	4,963,908	1,774,092	施設借上料外
諸謝金支出	3,590,000	1,519,199	2,070,801	講師謝礼外
負担金支出	2,645,000	1,366,640	1,278,360	文化団体助成
租税公課支出	37,000	3,400	33,600	収入印紙代
雑費支出	92,000	30,081	61,919	諸雑費
合計	41,585,000	29,662,536	11,922,464	

赤穂市文化会館の管理運営に関する業務の収支決算書
(令和3年度分)

(単位:円)

収入

項目	予 算	決 算	差 引	内 訳
文化会館管理収入	87,020,000	85,989,710	1,030,290	文化会館管理収入
施設利用料収入	18,437,000	18,928,905	△ 491,905	施設利用料収入
合 計	105,457,000	104,918,615	538,385	/

支出

項目	予 算	決 算	差 引	内 訳
人件費				
給料手当支出	10,801,000	10,763,550	37,450	職員給3人、諸手当
臨時雇賃金支出	6,993,000	6,991,536	1,464	臨時職員賃金3人
福利厚生費支出	2,905,000	2,539,908	365,092	社会保険料外
小 計	20,699,000	20,294,994	404,006	/
物件費				
旅費交通費支出	30,000	2,200	27,800	旅費
消耗品費支出	777,344	777,344	0	施設管理用消耗品外
燃料費支出	77,000	20,327	56,673	ガソリン代
会議費支出	2,000	0	2,000	
印刷製本費支出	81,000	78,100	2,900	封筒印刷
光熱水費支出	12,990,287	12,990,287	0	電気代外
修繕費支出	3,542,941	3,542,941	0	消防用設備修繕外
通信運搬費支出	238,000	231,382	6,618	電話料外
保険料支出	159,000	146,960	12,040	公立文化施設保険料外
委託料支出	65,191,137	65,191,137	0	総合管理業務委託 27,928,560 舞台操作業務委託 17,761,383 舞台設備保守業務委託 8,833,000 建物管理業務委託外 10,668,194
使用料賃借料支出	1,560,991	1,552,443	8,548	下水道使用料外
消耗什器備品費支出	47,300	47,300	0	施設備品
負担金支出	56,000	43,200	12,800	全国公立文化施設協会負担金外
雑費支出	5,000	0	5,000	
小 計	84,758,000	84,623,621	134,379	/
合 計	105,457,000	104,918,615	538,385	/

令和3年度 指定管理者管理運営事業評価シート

1 評価対象施設

公の施設の名称	赤穂市文化会館				
所在地	兵庫県赤穂市中広864番地				
指定管理者	団体名	(公財)赤穂市文化とみどり財団	指定期間	開始日	令和3年4月1日
	所在地	赤穂市中広864番地		終了日	令和6年3月31日
選定方法	公 募 ・ 非公募		評価実施年	指定期間3年のうち1年目	
施設設置目的	本市における文化の振興と交流の場を市民に提供し、市民の自主的な文化活動の展開によって市民文化の向上を図ることを目的として赤穂市文化会館を設置する。				
主な実施事業	貸館業務・施設管理業務				

2 利用状況(目標と実績)

成果指標	単位	目標	R3	目標	R4	目標	R5
a 利用者数	人	126,000	41,852	126,000		126,000	
b 利用率	%	65	46.5	65		65	
c 受講者数							
d 参加者数							
e							

3 指定管理業務にかかる収支状況

区 分		令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度予算
収入計	A	134,581,151	148,071,000	150,696,000
指定管理料		85,989,710	73,940,000	74,320,000
利用料収入	C	18,928,905	34,790,000	34,791,000
自主事業収入		29,662,536	39,341,000	41,585,000
その他		—	—	—
支出計	B	134,581,151	148,071,000	150,696,000
事業費		104,918,615	108,730,000	109,111,000
内、人件費	D	20,294,994	21,839,000	21,966,000
内、再委託料	E	65,191,137	66,948,000	67,720,000
自主事業費		29,662,536	39,341,000	41,585,000
事業収入	A-B	0	0	0
利用率比率	C/A	14 %	23 %	23 %
人件費率	D/B	15 %	15 %	15 %
再委託費比率	E/B	48 %	45 %	45 %
補足説明				

4 事業評価

評価区分	評価項目	自己評価	所管評価	
① サービスの履行	人員体制	事業計画に則し、人員を過不足なく配置している。	B	B
		事業計画に則し、計画的に研修等を実施している。	B	B
	法令順守	法令・条例等に基づき、必要な点検・報告を行っている。	A	B
	外部委託	外部委託に際し、適切に業者を選定し、業務指導を行っている。	A	B
	個人情報保護	個人情報保護に関する条例を順守し事故防止対策を講じている。	A	B
	情報公開	情報公開に関する法令や条例に準拠した運用がなされている。	A	B
		協定書等に従い、情報を適切に管理し、公表している。	A	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	A	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	A	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	A	A
		市との連絡調整を適切に行い、情報の共有が図れている。	A	B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。	A	B
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練を行っている。	B	B
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B	B
財務状況	指定管理者の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	B	
総括	【業務の実施体制】に関する評価】	B	B	
② サービスの質	施設管理	協定書等に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。	A	A
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	A	B
	利用者対応	利用許可、利用料金の徴収、減免等の受付業務を適切に行っている。	A	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	A	B
		言葉使い、態度、服装等接遇が適切である。	A	B
	事業運営	事業計画に則し、必須事業を実施している。	B	B
		施設の目的に沿った自主事業を実施している。	B	B
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	A	B
	維持管理	管理運営基準等に従い、施設の維持管理を適切に行っている。	A	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行っている。	B	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	A	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	A	B
	苦情等対応	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	A	B
		要望、苦情等を整理し、遅延なく市に報告している。	A	B
	事業評価	利用者アンケート調査を実施し、その結果を利用者等に公表している。	A	B
提案事項	各種提案事項について、市と協議し、検討を行っている。	B	B	
利用状況	利用者数等は、目標に対し妥当な水準である。	B	C	
総括	【業務の内容・水準】に関する評価】	B	B	
③ 安定性	経理事務	適切に経理事務を行っている。	A	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	A	B
	経費縮減	経費が縮減され、又は縮減に向けた努力を行っている。	A	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	A	B
	総括	「経費の収支等」に関する評価 【標準4項目/本施設4項目】	A	B

所見 (成果、課題等)	<p>【自己評価】</p> <p>地域の社会教育、文化・芸術活動の向上を目指し、地域社会の重要な拠点施設として、市民が主体的に文化活動に取り組むとともに、芸術・芸術鑑賞を享受できる場として、クラシックから人気歌手コンサート、演劇まで幅広いジャンルのイベントを準備し、各世代に応じたジャンルの選択が可能となるよう事業計画を立てていた。</p> <p>昨年度に続き、「新型コロナウイルス感染拡大」による国・県による「緊急事態宣言」が4月、8月に発令され、上半期に予定していた自主事業の中止を余儀なくされた。また、宣言解除後も「イベント開催制限」に伴い、貸館業務のキャンセルが相次ぎ、施設利用人数減少の大きな要因となった。</p> <p>下半期には、感染拡大が落ち着きを見せ、姫路交響楽団赤穂演奏会をはじめ、人気歌手コンサート、劇団四季による「ファミリーミュージカル」、劇団青年団による「忠臣蔵」公演など8事業を実施することができた。実施にあたっては、兵庫県感染防止ガイドラインに沿って、検温、手指消毒、マスクの着用、ソーシャルディスタンスの確保、氏名・連絡先の確認など感染防止対策の徹底を図ってきた。また、施設内の通常清掃に加え、ホールをはじめとした各施設及び会場の抗菌・除菌作業を徹底した。そして、高頻度接触部位については、重点清掃・消毒を実施した。</p> <p>劇団四季の演劇公演では、親子連れが多く、入場者の4分の1は高校生以下であった。終演後、スタンディングオベーションもあり「よい公演だった」との声が多く聞かれた。</p> <p>施設面では、経年劣化に伴い、年々修理を必要とする箇所が増えている。計画的な修繕が必要であるが、予算等の関係から不具合が生じた箇所の修繕を優先せざるを得ない状況である。今後は経費の見直しを一層進めるとともに、利用者へのサービス低下を招かないよう、より計画的な修繕を行うためのさらなる工夫が求められている。</p> <p>今後も新型コロナウイルス感染状況が落ち着かない限り、利用状況が好転することは難しい。会館利用者の増加を図るため、引き続き利用者のニーズを的確に把握することに努め、新聞などのマスメディアをはじめ、フェイスブックなどSNSを活用して自主事業のPRを継続していく。</p>		
	<p>【所管評価】</p> <p>適切に施設管理を行い、社会教育、文化・芸術活動の拠点としての役割を果たしている。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により中止・規模縮小などの措置を取らざるをえず、利用者数の減少がみられるが、兵庫県の対処方針に則り、適切な運用を行うことができている。</p> <p>引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業の一部などを制限される可能性があるが、ホームページの充実やSNS等を活用した積極的な情報発信に努め、利用者増への取り組みの充実を図られたい。</p> <p>また、利用者の安全確保に努め、貸館業務による交流の場の提供や幅広いジャンルのイベントの企画開催等により、市民文化の向上に向けた取り組みに努められたい。</p>		
前年評価	B	総合評価	B

※評価基準

A	優良	基協定書、仕様書、事業計画書等を遵守し、要求水準より優れている。
B	良好	協定書等を遵守し、要求水準を概ね満たしている。
C	要改善	協定書等に定める要求水準を下まわっており、改善が必要と認められる。